

## 富山市上下水道局建設請負工事成績評定要領

### (目的)

第1条 この要領は、富山市上下水道局建設請負工事検査規程(平成17年富山市上下水道局管理規程第19号)において例によるものとしている富山市建設請負工事検査規程(平成17年富山市訓令第17号。以下「工事検査規程」という。)第9条第2項による工事の成績評定(以下「評定」という。)に関し、必要な事項を定め、厳正かつ的確な評定を行うことにより、もって請負業者の適正な選定及び指導育成に資することを目的とする。

### (評定の対象)

第2条 評定は、請負金額が1件300万円以上の工事について行う。ただし、上下水道局長が必要でないと認めたものについては、評定を省略することができる。

### (評定者)

第3条 工事成績の評定者(以下「評定者」という。)は、監督員(主任監督員)、工事担当係長等及び検査員とする。

### (評定の方法)

第4条 評定は、一つの工事の完成ごとに行う。

2 評定は、監督又は検査の結果により確認した事項に基づき、評定者ごとに的確、かつ公正に行う。ただし、一つの工事に評定者となる検査員が二人以上ある場合においては、それらの者が協議の上、評定を行う。

3 工事成績の採点は、様式1「工事成績採点表」により行う。

4 細目別評定点の算出は、様式2「細目別評定採点表」により行い、別表1「項目別評定点」を作成する。

5 監督員は別紙1、工事担当係長等は別紙2、検査員は別紙3(以下「考查項目別運用表」という。)により考查する。また、別紙4「記入方法及び留意事項」及び富山市建設請負工事監督要領に定める別表1「施工プロセスのチェックリスト」を考慮する。

6 工事における「工事特性」、「創意工夫」及び「社会性等」に関して、受注者は、当該工事における実施状況を様式3-1「工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書(土木工事)」から様式3-3「工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況(説明資料)」までにより提出できる。提出があった場合、評定者は、工事の成績評定に当たり適切に反映させる。

7 評定者は、様式1「工事成績採点表」に様式2「細目別評定採点表」、別表1「項目別評定点」及び「考查項目別運用表」を添え、遅滞なく契約出納課長に提出しなければならない。

### (評定結果の報告)

第5条 工事検査規程第2条第2項及び第4条第1項による検査の評定結果は、工事検査規程第9条第1項に規定する検査内訳書(様式第4号)に記入し、別表1「項目別評定点」を添付して、上下水道局長に報告する。

(採点表の保管)

第6条 採点表は、契約出納課において保管しなければならない。

(評定結果の通知)

第7条 契約出納課長は、第5条による報告の後、当該工事の受注者に対して、評定の結果を工事検査規程第9条第3項に規定する検査結果通知書（様式第6号）に記載し、別表1「項目別評定点」を添付して、遅滞なく通知しなければならない。

(説明請求等)

第8条 前条による通知を受けた受注者は、通知を受けた日から起算して14日以内（富山市の休日を定める条例（平成17年富山市条例第2号）第1条第1項各号に規定する休日（以下「休日」という。）を含む。）に、契約出納課長に対し、評定の内容について、様式4「工事成績評定結果に関する質問票」により説明を求めることができる。

- 2 契約出納課長は、前項の説明請求に対する回答をするときは、工事担当課長に意見を求めることができる。
- 3 契約出納課長は、様式5「工事成績評定に係る説明書（回答）」により第1項の説明請求に対する回答を行う。

(再説明請求)

第9条 前条の規定による回答を受けた受注者は、回答を受けた日から起算して14日以内（休日を含む。）に、契約出納課長に対し、様式6「工事成績評定結果に関する再質問票」により再説明を求めることができる。

- 2 契約出納課長は、前項による再説明を求められたときは、工事成績評定審査委員会の審査を経て、様式7「工事成績評定に係る再説明書（回答）」により回答する。
- 3 前項の工事成績評定審査委員会は、別に定める「富山市上下水道局工事成績評定審査委員会設置要領」に基づき設置する。

(評定の修正)

第10条 評定者は、当該評定を修正する必要があると認められるときは、評定を修正しなければならない。

- 2 契約出納課長は、前項の修正が行われたときは、遅滞なく、修正された第7条に定める検査結果通知書（様式第6号）を当該受注者に通知する。

(評定結果の公表)

第11条 契約出納課長は、第7条により評定結果を通知したとき、その通知書の写しを上下水道局契約出納課窓口において公表する。

- 2 前項の公表期間は、公表した日の翌日から起算して1年が経過する日までとする。
- 3 前条の規定により、評定者が評定を修正したときは、第1項の規定を準用する。

附 則  
(施行日)

- 1 この要領は、平成19年4月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 この要領の規定は、この要領の施行の日(以下「施行日」という。)以降に契約する工事から適用し、施行日以前に契約した工事の成績評定は、なお従前の例による。

附 則

この要領は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和7年4月1日から施行する。

別表1

## 項目別評定点

評価項目	細別	評定点／満点
1 施工体制	I 施工体制一般	／3.3点
	II 配置技術者	／4.1点
2 施工状況	I 施工管理	／13.0点
	II 工程管理	／8.1点
	III 安全対策	／8.8点
	IV 対外関係	／3.7点
3 出来形及び出来ばえ	I 出来形	／14.9点
	II 品質	／17.4点
	III 出来ばえ	／8.5点
4 工事特性（加点のみ）	I 施工条件等への対応	／7.3点
5 創意工夫（加点のみ）	I 創意工夫	／5.7点
6 社会性等（加点のみ）	I 地域への貢献等	／5.2点
7 法令順守等（減点のみ）		点
8 総合評価方式等（減点のみ）		点
評定点合計		／100点

## 工事成績採点表

所属名: \_\_\_\_\_

年度	工事名														整理番号										
	受注者名														契約金額(最終)	円									
	工期	~							完成年月日								検査年月日								
考査項目	監督員(主任監督員)							工事担当係長等							検査員										
	職・氏名							職・氏名							職・氏名										
項目	細別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e					
1 施工体制	I 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																			
	II 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																			
2 施工状況	I 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0									+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0				
	II 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15.0												
	III 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15.0												
	IV 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																			
3 出来形及び出来ばえ	I 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0									+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0				
	II 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0									+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0				
	III 出来ばえ														+5.0		+2.5		0	-5.0					
4 工事特性	I 施工条件等への対応	※1					~+20.0																		
5 創意工夫	I 創意工夫	※2	~+7.0																						
6 社会性等	I 地域への貢献等	※3					+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	-														
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		点							点							点									
評定点(65点±加減点合計)※4		①	点			②	点			③	点			点											
7 評定点計※4		点							(①×0.4 + ②×0.2 + ③×0.4)																
8 法令順守等※5									点																
9 総合評価方式等※6									点																
評定点合計※7									点							(評定点計 + 法令順守等 + 総合評価方式等)									
所見※8		【監督員(主任監督員)】							【工事担当係長等】							【検査員】									

各考査項目の採点は、監督員(主任監督員)は別紙1-1～1-9-2、工事担当係長等は別紙2-1～2-6、検査員は別紙3-1～3-3-57によるものとし、検査員の評価に先立ち、監督員(主任監督員)及び工事担当係長等が記入する。

※1 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。

評価に際しては、監督員(主任監督員)からの報告を受けて工事担当係長等が評価する。

※2 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。

※3 社会性等の評価では地域への観点から加点評価のみとする。

※4 各評定点は小数第1位まで記入する。

※5 法令順守等の評価(減点)は、工事担当係長等が行う。また、法令順守等は、減点評価のみとする。

※6 総合評価方式等の評価(減点)は、工事担当係長等が行う。

※7 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

※8 所見は必ず記載する。

様式2

## 細目別評定採点表

項目	細別	①監督員（主任監督員）	②工事担当係長等	③検査員	細目別評定点	得点割合
1 施工体制	I 施工体制一般	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点	<input type="text"/>	<input type="text"/>	点 / 3.3 点	%
	II 配置技術者	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点	<input type="text"/>	<input type="text"/>	点 / 4.1 点	%
2 施工状況	I 施工管理	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点	<input type="text"/>	<input type="text"/> × 0.4 + 6.5 = 点	点 / 13.0 点	%
	II 工程管理	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点	<input type="text"/> × 0.2 + 3.2 = 点	<input type="text"/>	点 / 8.1 点	%
	III 安全対策	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点	<input type="text"/> × 0.2 + 3.3 = 点	<input type="text"/>	点 / 8.8 点	%
	IV 対外関係	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点	<input type="text"/>	<input type="text"/>	点 / 3.7 点	%
3 出来形及び出来ばえ	I 出来形	<input type="text"/> × 0.4 + 2.8 = 点	<input type="text"/>	<input type="text"/> × 0.4 + 6.5 = 点	点 / 14.9 点	%
	II 品質	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点	<input type="text"/>	<input type="text"/> × 0.4 + 6.5 = 点	点 / 17.4 点	%
	III 出来映え	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> × 0.4 + 6.5 = 点	点 / 8.5 点	%
4 工事特性	I 施工条件等への対応	<input type="text"/>	<input type="text"/> × 0.2 + 3.3 = 点	<input type="text"/>	点 / 7.3 点	%
5 創意工夫	I 創意工夫	<input type="text"/> × 0.4 + 2.9 = 点	<input type="text"/>	<input type="text"/>	点 / 5.7 点	%
6 社会性等	I 地域への貢献等	<input type="text"/>	<input type="text"/> × 0.2 + 3.2 = 点	<input type="text"/>	点 / 5.2 点	%
7 法令順守等（減点方式）		<input type="text"/>	<input type="text"/> × 1.0 = 点	<input type="text"/>	点	
8 総合評価方式等（減点方式）		<input type="text"/>	<input type="text"/> × 1.0 = 点	<input type="text"/>	点	
※ <input type="text"/> 内の配点は、別紙3（考査項目別運用表）による。					評定点合計	点 / 100 点

(宛先) 監督員

商号又は名称

現場代理人

工事名

## 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書（土木工事）

項目	評価内容	備考
□ 工事特性 施工条件等への対応	□ 構造物の特殊性	施工規模が特殊な工事 複雑な形状の構造物
	□ 都市部等の作業環境、社会条件等	地盤の変形、近接構造物及び地中構造物への影響 周辺環境条件による作業条件及び工程への影響 周辺住民等に対する騒音及び振動への配慮 現道上での交通規制による影響 緊急時の対応が必要な工事 施工箇所が広範囲に亘る工事
	□ 厳しい自然、地盤条件	特殊な地盤条件への対応 雨、雪、風、気温及び波浪等の自然条件の影響 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 動植物等の自然環境の保全への配慮
	□ 長期工事における安全確保	12ヶ月を超える工期で事故なく完成し、作業条件により安全確保に苦慮した工事
	□ その他	
□ 創意工夫 自ら立案実施した創意工夫や技術力	□ 施工関係	施工に伴う機械、器具、工具及び装置類 二次製品及び代替製品の利用 施工方法の工夫及び施工環境の改善 仮設工施工の工夫及び施工機械の工夫 特殊な工法や材料の使用 優れた技術力又は能力として評価できる技術による施工
	□ 施工管理関係	施工管理の工夫（現場管理、施工計画及び写真管理） 計測関係の工夫並びに集計及び管理図の工夫 CAD施工管理ソフト及び土量管理システム等の活用並びにICTを活用した情報化施工
	□ 新技術活用	富山県認定リサイクル製品、トライアル発注商品及び県内産木材を使った製品の積極的活用 NETIS登録技術の積極的活用
	□ 品質関係	品質管理の工夫（土工、コンクリート打設等） 二次製品等の使用材料の工夫 配筋及び溶接作業等に関する工夫
	□ 安全衛生関係	安全施設及び仮設備の配慮 安全教育、講習会、パトロール及び安全帯使用等の工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫 現場での地盤環境への配慮
	その他	
□ 社会性等 地域社会や住民に対する貢献	□ 地域への貢献等	周辺環境への配慮 現場環境の地域への調和 地域住民とのコミュニケーション 地域が主催するイベントへの積極的参加 地域に密着した清掃活動等の実施 災害時における地域への援助及び救援活動

1 該当する項目の□にチェックを入れてください。

2 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況について、写真、ポンチ絵等を用いた具体的な内容の説明資料（様式3-3）を添付してください。

(宛先) 監督員

商号又は名称

現場代理人

工事名

## 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書（建築工事）

項目	評価内容	備考
□ 工事特性 施工条件等への対応	□ 建物の特殊性	対象建物の規模が特殊な工事 対象建物の耐震レベルが高い工事 対象建物の機能が特殊な工事
	□ 都市部等の作業環境、社会条件等	近接構造物及び地中構造物への影響 周辺環境条件による作業条件及び工程への影響 周辺住民等に対する騒音及び振動への配慮 周辺水域環境に対する水質汚濁への配慮 施工状況や施工条件に対応した工法が必要な工事
	□ 厳しい自然、地盤条件	湧水の発生等、地下水の影響が大きい工事 軟弱地盤等、支持地盤の影響が大きい工事 雨、雪、風及び気温等の自然条件の影響
	□ 長期工事における安全確保	12ヶ月を超える工期で事故なく完成し、作業条件により安全確保に苦慮した工事
	□ その他	
□ 創意工夫 自ら立案実施した創意工夫や技術力	□ 施工関係	施工に伴う機械、器具、工具及び装置類 二次製品及び代替製品の利用 施工方法の工夫及び施工環境の改善 仮設工施工の工夫 既存施設及び近隣等に対する騒音振動対策の工夫 保全への配慮による材料選定及び施工方法等の工夫 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 特殊な工法や材料の使用 優れた技術力又は能力として評価できる技術による施工
	□ 施工管理関係	出来形管理等に関する工夫、施工計画書及び写真管理等の工夫 出来形及び品質に関する計測等の工夫並びに集計の工夫 CAD施工管理ソフト及び土量管理システム等の活用並びにICTを活用した情報化施工
	□ 新技術活用	富山県認定リサイクル製品、トライアル発注商品及び県内産木材を使った製品の積極的活用 NETIS登録技術の積極的活用
	□ 品質関係	品質管理の工夫（躯体工事等） 材料及び施工の検査試験に関する工夫 品質記録方法の工夫
	□ 安全衛生関係	安全施設及び仮設備の配慮 安全教育、講習会及びパトロール等の工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫 現場での地盤環境への配慮
	□ その他	
□ 社会性等 地域社会や住民に対する貢献	□ 地域への貢献等	周辺環境への配慮 現場環境の地域への調和 地域住民とのコミュニケーション 地域が主催するイベントへの積極的参加 地域に密着した清掃活動等の実施 災害時における地域への援助及び救援活動

1 該当する項目の□にチェックを入れてください。

2 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況について、写真、ポンチ絵等を用いた具体的な説明資料（様式3-3）を添付してください。

様式3-3

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）

工事名		
項目		
提案内容	評価内容	
(説明)		
(添付図)		

説明資料は簡素に作成し、必要に応じて別葉とする。

## 活用効果調査表（施工者希望型 受注者提出用）

※「工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書」に添付

### ※ 記入要領

- 1 すべての調査項目について調査を行ってください。  
ただし、その他については、内容の記載した場合に、評価点へのチェック（○で囲む。）を行ってください。
- 2 調査項目はすべて記入必須です。
- 3 定性調査内容に対する評価点は5段階評価とし、該当する評価点をチェック（○で囲む。）してください。  
従来技術に比べ優れている。 (+ 2)  
// やや優れている。 (+ 1)  
// 同程度である。 ( 0 )  
// やや劣っている。 (- 1)  
// 劣っている。 (- 2)
- 4 記載している項目に該当がない場合は、「その他追加調査した結果」に追記してください。
- 5 評価できない項目がある場合は、0で評価してください。
- 6 評価点は調査内容ごとに合計点を算出し、計算式に従って算出してください。
- 7 各所見（調査結果）欄に、採点した理由等の所見を記入してください。
- 8 高い評価点及び低い評価点をつけた場合には、その理由を留意点に記載してください。

(工事番号)		(工事名)	
調査者		(受注者名・氏名・連絡先)	
NETIS登録技術名称		登録番号	
従来技術			
当該現場条件	自然環境 (騒音、振動、水質等)		
	周辺環境 (病院、学校、鉄塔の有無等)		
	現場条件		
I 経 済 性	単位当たりの関係するコスト（施工費、維持管理費等）と従来技術を使った概算コスト比較する。		
		従来工法	新技術
	単位数量当たり	千円	千円
	評価点（0～200点） = $100 + 100 \times \text{コスト差割} / \text{従来技術コスト}$ =		
	調査結果		
II 工 程	従来技術と新技術の対応する施工サイクルについて施工単価当たりの実施工日数と従来技術の施工日数（概算）を比較する。		
		従来技術	新技術
	単位数量当たり		
	評価点（0～200点） = $100 + 100 \times \text{短縮日数} / \text{従来技術の施工日数}$ =		
	調査結果		

		調査内容	評価点				
III 品 質 ・ 出 來 形	品質は向上したか	+2 +1 0 -1 -2					
	出来形、精度は向上したか	+2 +1 0 -1 -2					
	耐久性が向上する構造になったか	+2 +1 0 -1 -2					
	品質、出来形の管理項目は減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	品質、出来形の管理頻度は減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	その他 ( )	+2 +1 0 -1 -2					
	その他 ( )	+2 +1 0 -1 -2					
		得点：					
評定点 = 100 + (50 × 得点) / 選択項目数 =							
調査結果							
IV 安 全 性 調 査		調査内容	評価点				
	墜落、転落事故の危険性が減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	重機災害の危険性が減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	飛来、落下物災害の危険性が減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	作業環境が向上したか (暗がり、騒音、狭所作業等の現象)	+2 +1 0 -1 -2					
	危険物等の取り扱いが減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	その他 ( )	+2 +1 0 -1 -2					
	その他 ( )	+2 +1 0 -1 -2					
評定点 = 100 + (50 × 得点) / 選択項目数 =		得点：					
調査結果							
V 施 工 性 調 査		調査内容	評価点				
	現場での施工が減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	仮設工が減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	作業員が容易になったか	+2 +1 0 -1 -2					
	熟練度に依存した工程が減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	施工の機械化の程度は向上したか	+2 +1 0 -1 -2					
	施工時の制約条件が減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	その他 ( )	+2 +1 0 -1 -2					
評定点 = 100 + (50 × 得点) / 選択項目数 =		得点：					
調査結果							
VI 環 境 調 査		調査内容	評価点				
	周辺の大気汚染、土壤汚染、水質汚染が減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	騒音、振動、粉塵等が減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	周辺の自然、生態環境、景観との調和が向上したか	+2 +1 0 -1 -2					
	産業廃棄物の発生量が減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	危険物等の取り扱いが減少したか	+2 +1 0 -1 -2					
	その他 ( )	+2 +1 0 -1 -2					
	その他 ( )	+2 +1 0 -1 -2					
評定点 = 100 + (50 × 得点) / 選択項目数 =		得点：					
調査結果							

VII そ の 他	調査内容	コメント
	その他 ( )	
	その他 ( )	
	その他 ( )	
調査結果		
具体的な所見		
その他追加調査した結果		
【NETIS資料・施工状況等の写真】 (適宜別紙可)		

様式4

年 月 日

(宛先) 富山市上下水道事業管理者

住 所  
氏 名  
電話番号

工事成績評定結果に関する質問票

1 工 事 名

年度 工事

2 質 問 内 容

様式5

水 契 第 号  
年 月 日

様

富山市上下水道事業管理者 印

### 工事成績評定に係る説明書（回答）

年 月 日付けで質問のありました評定内容について、次のとおり回答いたします。

この説明書に疑問があるときは、本市に対して、本書面の回答を受けた日から起算して14日（休日を含む。）以内に、その疑問の旨を書面により再説明を請求することができます。

疑問の旨に対する再説明は、書面により通知いたします。

記

#### 1 工事名

年度 工事

#### 2 疑問に対する回答

#### 3 問合せ先（送付先）

富山市牛島本町2丁目1番20号

富山市上下水道局契約出納課（電話 076-432-8518）

様式6

年 月 日

(宛先) 富山市上下水道事業管理者

住 所  
氏 名  
電話番号

工事成績評定結果に関する再質問票

1 工 事 名

年度 工事

2 質 問 内 容

様式7

水 契 第 号  
年 月 日

様

富山市上下水道事業管理者 

工事成績評定に係る再説明書（回答）

年 月 日 付けで再説明を求められた評定内容について、次のとおり回答いたします。

記

1 工事名

年度 工事

2 疑問に対する回答

(担当) 上下水道局契約出納課  
(電話) 076-432-8518